

板橋区長坂本健殿

平成 25 年 5 月 13 日
板橋区議会公明党議員団

平成 26 年度予算重点要望にあたって

平成 25 年度の当初予算においては景気の先行きを懸念して、一般会計は前年度比 0.5% 減の緊縮予算となった。しかしながら平成 24 年 12 月末に第 2 次安倍内閣が誕生し、景気はアメリカ経済の好調とアベノミクス効果により回復を続けている。平成 26 年度は大幅な税収増が見込まれる。

そのような中、風疹の大流行から区民の生命（いのち）を守るため、4 月 1 日より風疹のワクチンの全額助成を開始したことと、国の定期接種に位置付けられた子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの助成を開始したことは歓迎し、高く評価をする。区の構造改革により歳出削減を実施するにあたり、単純なコストカットにならないよう、より一層の創意工夫を求める。

さて、今回の重点要望にあたっては大項目で 11 項目、小項目を含めると 17 項目の要望としました。そのうち昨年度から継続のものが、陳情で採択された 1 ヶ月検診を含む 4 項目。保育計画と孤独死防止で条件の見直しを要望したものが 2 項目。老朽家屋対策等新規に要望するものが 11 項目となっています。陳情で採択されたもの、継続して要望している項目は強く要望致します。前向きな検討をお願い申し上げます。